



理事長 **岡部 憲昭**

皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から遠賀信用金庫に対し格別のご愛顧、お引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

今年も、地域社会に貢献する遠賀信用金庫の取組みをご紹介するディスクロージャー誌『ONSHIN REPORT 2022』が出来上がりました。メチャくんファミリーも一緒にわかりやすく説明していますので、ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度のわが国の経済は、新型コロナウイルスの影響によりサービス業を中心に厳しい状況が続きましたが、ワクチン接種の進展等もあり個人消費を中心に持ち直しの動きも見られました。しかしながら、米国の金融政策の転換やロシアのウクライナ侵攻等による資源価格の高騰、円安などの影響で、先行きの不透明感が日増しに大きくなっています。当地域におきましても、多くの中小企業の皆さまや住民の皆さまへの影響が懸念されるところであります。そのような中で、当金庫はお客さまへのご支援を最優先課題として、全力で取り組んでおります。

昨年度の取組みを振り返って見ますと、昨年7月には「おんしんSDGs宣言」を行い、信用金庫としては九州初となるLGBT(性的マイノリティ)対応型住宅ローンの取扱いを開始したほか、フードドライブを活用した子ども食堂への食料品支援などに取り組んでまいりました。また、新型コロナウイルスに立ち向かう医療従事者を応援する「おんしんエール定期」を販売し、集まった預金の0.02%に相当する金額を福岡県に寄付しました。さらには、九州産業大学との「包括的地域連携協定」の締結、九州北部の13の信用金庫による「しんきん合同商談会」の共同開催、2年ぶりとなる「おんしん講演会」の開催、トンガやウクライナへの寄付活動など各方面に活動の幅を広げております。

デジタル技術を活用した新たな取組みとして、昨年10月には、信用金庫として北部九州初となる「おんしんネット支店」を開設しました。お客さまの利便性向上はもちろんですが、「人と人とのつながり」を大切にしたい信用金庫らしい“顔の見えるインターネット支店”を目指して活動しております。また、昨年11月には、おんしん公式Instagramを開設し、お客さまの事業をPRするお手伝いをしております。

令和3年度の決算につきましては、金融緩和による貸出金利の低下や新型コロナウイルスによる地域経済の低迷など厳しい環境ではありましたが、当期利益は737百万円を確保することができました。金融機関の健全性を示す自己資本比率も15.60%と、国が定める基準である4%を大きく上回っております。

今年度の最大の課題は、新型コロナウイルスや地政学的リスクの顕在化などによる景気悪化の影響を受けるお客さまへの経営支援です。さらには、デジタル化の急速な進展や脱炭素などの社会経済の変化に適切に対応していくことも重要な課題と認識しております。引き続き、地域の中小企業の発展、地域住民の生活の向上、地域社会の繁栄のために全力で取り組んでまいります。

遠賀信用金庫は、「スモール イズ ナイス」の矜持を胸に、地域の皆さまの期待に応えるべく、役職員一丸となって懸命に努力してまいります。

今後とも、遠賀信用金庫に対しまして格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご繁栄、ご健勝を心よりお祈り申し上げますと、ご挨拶といたします。

令和4年7月